

定期試験の受け方・心構えについて

■ 試験時間と教室を確認しましょう。

試験の時間割は学生によって各々違います。試験教室は、いつもの講義教室とは異なります。また、試験時間も、通常の授業時間と異なりますので、各自で事前に試験日・時間と教室をFUポータルで確認してください。

試験時間	1時限	9:30-10:30	4時限	13:50-14:50	夜1時限	18:20-19:20
	2時限	10:50-11:50	5時限	15:10-16:10	夜2時限	19:50-20:50
	3時限	12:30-13:30	6時限	16:30-17:30		

■ マスクは正しく着用し、試験教室に入室する際は手指消毒を行ってください。

マスク（鼻と口を全て覆う大きさ）の着用を義務付けています。マスクが汚染したり、紐が切れた場合は交換用マスクを準備していますので、監督者に申し出てください。

教室の出入口には、手指消毒液を設置しています。手指消毒を意識して実施してください。

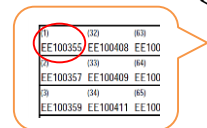


■ 試験は『座席』が指定されています。

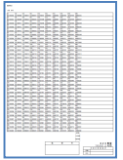
定期試験は、試験教室で各自座席が指定されています。まず、試験教室についたら、入口前に掲示してある座席表を確認してください。

①自分の受ける試験科目・担当者が記載されているか、②座席表に自分の学籍番号があるか、③何列目の何番の座席番号に座るのかを確認し、入室してください。

※座席表は試験日当日に掲示します。座席表に自分の学籍番号が無い場合、至急、試験事務室(A棟地下) ※学籍番号と座席番号を確認に行ってください。



<試験座席表>



■ 学生証が無いと試験は受けられません。

学生証を所持していない学生は受験できません。試験開始前に学生証を所持しているかどうかを確認し、所持していない場合、各部署設置の証明書自動発行機より仮学生証を出力(1回の定期試験で2回を限度)してください。

学生証は写真を表にして、試験監督者が見やすいよう指定された座席の通路側に置いてください。

試験開始直後に学生証で出欠を確認します。顔写真や表面の文字が剥がれていませんか？この場合、本人確認ができません。事前に「再発行」の手続きを学生課で行ってください。



■ 試験開始前に監督者から注意事項があります。

筆記用具・持込許可品目以外は机上には置けません。筆箱も同様に机上には置けません。

携帯電話やスマートフォンのアラームを設定している場合は解除後、電源を切ってカバンに入れてください。全員が入れるまで、試験問題は配付しません。机上に置いたまま、あるいはカバンに入れていない場合、不正行為とみなします。また、スマートウォッチなどの腕時計式スマートフォンも時計として使用できませんので、電源を切ってカバンに入れてください。

※持込許可品目は事前にFUポータルのお知らせに掲載します。(通信・記録できる機能をもつ電子機器および電子辞書を除く)



■ 入室が許されるのは、試験開始後20分まで！

交通機関の運行規制等によって遅れる場合など、20分以内であれば入室を許可します。試験開始後20分にチャイムを鳴らしますが、チャイムが鳴り始めると入室できません。遅刻した場合は、すぐに試験教室へ入室してください。

試験開始後は、入口付近に掲示している座席表は次時限のものとなっています。

遅刻して入室した場合、学生証を試験監督者に提示し座席を確認してください。提示後、試験科目、クラス、担当教員名を伝え、試験問題を受け取ってください。



■ 試験開始後は、試験に集中してください。

試験時間は60分です。最初に問題紙等の試験科目・担当者に間違いがないか必ず確認してください。試験が始まったら、試験問題の全体の構成を把握して、どこにどれだけ時間を使うか配分してください。

記号などで答える問題はケアレスミスがないか、論述式の解答はきちんと設問に対応した分かりやすい文章になっているか、必ず見直しの時間も用意しましょう。

試験開始30分後、試験監督者より退室許可の指示が出されます。退出後は、まだ試験中なので廊下やロビーなどで騒がないようにしてください。



■ 不正行為は絶対にしてはいけません！

不正行為を行った学生に対して、大学は厳格に対処します。受験中にカンニングなど不正行為を行った場合は、当該期間（前期又は後期）に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目の登録を「放棄」として取り消します。進級・卒業に大きな影響を与えますので、決して不正行為をしてはいけません。

また、答案用紙は、いかなる理由があっても持ち出ししてはいけません。持ち出しは厳禁です。答案を持ち出した場合、その科目は「放棄」とみなします。